

# 災害時栄養・食生活支援に対応できる管理栄養士の育成に関する調査 報告書

## 1. 調査の背景・目的

本会では、災害発生時に避難所等で生活する被災者への栄養・食生活支援に対応できる管理栄養士（JDA-DAT）の育成を進めてきた。近年は、大規模災害時の保健医療福祉活動における体制強化の一環として、保健医療福祉調整本部の設置に際し、JDA-DAT が「連絡窓口」として位置づけられるなど、役割の高度化・複雑化が進んでいる。

こうした状況を踏まえ、本会では、JDA-DAT において統括的な役割を担う人材（以下、「JDA-DAT 統括リーダー（仮称）」という）の育成に向けた仕組みづくりの検討を開始した。

本調査は、災害時の栄養・食生活支援に実際に関与した管理栄養士・栄養士等の経験や課題意識、必要と感じた知識・技術、人材育成に対するニーズを把握し、今後の人材育成の方向性および JDA-DAT 統括リーダー（仮称）のあり方を検討することを目的として実施した。

## 2. 調査概要

- 調査方法：Web アンケート調査
- 調査期間：2025 年 12 月 11 日（木）～12 月 24 日（水）
- 調査対象：
  - JDA-DAT 登録者（都道府県栄養士会の災害対応担当者を含む）
  - 公衆衛生職域 全国リーダー
  - 災害時に被災地での栄養・食生活支援に従事した経験のある管理栄養士・栄養士
- 調査内容：
  - 回答者の基本属性
  - 災害時および平時の栄養・食生活支援活動への関与経験
  - 被災地支援活動における困難・課題
  - 支援活動において役立った知識・スキル
  - 研修・人材育成に関する認識
  - JDA-DAT 統括リーダー（仮称）の必要性、役割、求められる能力および育成に向けた取組

## 3. 回答者の属性の概要

回答者は、40～50 代を中心とした中堅からベテラン層が多く、自治体（都道府県・市町村）、医療機関、福祉施設等、幅広い職域に分布していた。JDA-DAT については、リーダーまたはスタッフとして登録している者が多く、今後の登録予定者も含まれており、災害時栄養・食生活支援に対する関心と関与意欲の高い集団からの回答が得られた。

#### 4. 災害時・平時における栄養・食生活支援活動への関与状況

災害時の関与内容としては、避難所等での被災者への直接的な栄養・食生活支援に加え、被災地栄養士会の災害対策本部におけるマネジメント、特殊栄養食品ステーションでの支援物資調整、後方支援としての献立作成や食事評価など、多様な形態が確認された。

一方、平時においては、防災訓練や研修への参加、災害時対応マニュアルの作成、講義・演習の担当などに関与している者が一定数いるものの、平時からの関与が限定的な層も存在していた。

#### 5. 被災地支援活動における困難・課題

##### 5-1. 活動内容に関する困難

被災地での栄養・食生活支援活動において困難と感じた内容としては、被災自治体担当者との活動方針の調整や意思決定、他の保健医療福祉支援チームとの連携・調整が多く挙げられた。また、避難所における食事提供内容の把握や評価、要配慮者（食物アレルギー、慢性疾患等）への対応についても課題として認識されていた。

##### 5-2. 個人に関する困難

個人としての困難では、自身の知識・経験不足、精神的・身体的負担、職場の理解や業務調整、家族の理解などが挙げられ、支援活動に従事するための環境整備の重要性が示唆された。

#### 6. 支援活動において役立った知識・スキル

支援活動の中で役立ったと感じられた知識・スキルとしては、災害時の栄養管理に関する専門知識と実践力、被災者ニーズの把握・アセスメント力、他職種・関係機関との調整力、コミュニケーションスキル、マネジメント・リーダーシップ力が多く挙げられた。

#### 7. 研修・人材育成に関する認識

災害支援に関する研修については、JDA-DAT 関連研修や自治体・学会等が主催する研修を受講した経験が確認された一方、体系的・段階的に学ぶ機会の不足を示唆する回答も見られた。

今後、JDA-DAT として育成すべき知識・スキルとしては、行政や関係機関との連携・調整能力、支援体制構築力、避難所の食事提供に関するアセスメント・評価、要配慮者への対応、情報収集・記録・報告の能力が重要視されていた。

#### 8. JDA-DAT 育成体制に関する方向性

人材育成体制としては、段階的な研修プログラムの整備、実地訓練やシミュレーション演習の実施、支援活動経験者から学ぶ機会の確保、支援活動マニュアルやアクションカー

ドの充実が必要であるとの認識が示された。また、JDA-DAT の活動を統括・調整する役割を担う人材の養成を求める声が多く挙げられた。

## 9. JDA-DAT 統括リーダー（仮称）に関する認識

JDA-DAT 統括リーダー（仮称）の必要性については、「必要である」「どちらかといえば必要である」とする回答が大多数を占めた。統括的役割を担う人材が不在であったことにより、情報共有や調整が円滑に進まなかった経験があるとの意見も見られた。

期待される役割としては、JDA-DAT 支援チーム全体の調整・統括、被災自治体および保健医療福祉調整本部との連絡調整、支援活動の優先順位判断、他の支援チームとの連携促進、平時からの関係構築などが挙げられた。

また、統括リーダーに求められる能力・マインドとしては、状況を俯瞰する力、マネジメント・調整力、災害支援に関する経験と判断力、行政や他職種とのコミュニケーション力、精神的な安定性と柔軟な対応力が重視されていた。

## 10. 考察

### 10-1. 災害時栄養・食生活支援体制の高度化に向けた課題認識

本調査結果から、災害時の栄養・食生活支援は、個々の管理栄養士・栄養士の専門性や献身的な努力によって一定程度支えられている一方で、支援活動全体を俯瞰し、関係機関や多職種との調整を担う「統括的機能」が十分に制度化されていないことが明らかとなった。多くの回答者が、研修等を通じて知識を習得していても、実際の被災地においては、状況判断、情報整理、支援ツールの活用、関係者との調整が十分に行えなかったと感じており、知識と実践力の間に乖離が存在することが示唆された。また、JDA-DAT の役割や立ち位置について、自治体、他職種、さらには JDA-DAT 内部においても十分に共有されていないケースがあり、行政栄養士や DHEAT 等との役割分担が不明確な状況では、活動の方向性や意思決定の所在が曖昧となり、現地での混乱や連携不足につながったとの指摘が多く見られた。さらに、災害時の支援においては、栄養学的知識のみならず、被災者の生活背景を踏まえた判断力、傾聴を基盤としたコミュニケーション力、多職種と協働する姿勢といった非専門的能力（ソフトスキル）が極めて重要であることが再認識された。一方で、これらの能力は研修で体系的に習得しにくく、現場経験の有無によって活動の質に差が生じている実態も明らかとなった。加えて、「平時にできていないことは災害時にもできない」という意見に象徴されるように、平常時からの関係機関との連携不足や受援体制の未整備が、災害時支援の円滑な実施を妨げる構造的要因となっていることが示された。

### 10-2. JDA-DAT 統括リーダー（仮称）の制度的意義

自由記載からは、JDA-DAT 統括リーダー（仮称）の必要性を肯定的に捉える意見が多数を占めており、その背景には、現場対応の複雑化・長期化に対し、個々のリーダーやスタッフだけでは対応しきれないという切実な課題認識がある。統括リーダーは、単なる

経験豊富な個人ではなく、災害時における栄養・食生活支援を「組織として機能させるための要」として位置づける必要がある。具体的には、複数の JDA-DAT 支援チームを俯瞰し、被災自治体、保健医療福祉調整本部、他の保健医療福祉活動チーム等との連絡調整を担うことで、栄養・食生活支援を災害対応全体の中に位置づけ、戦略的に展開する役割が期待されている。一方で、統括リーダーの導入にあたっては、スタッフ、リーダー、統括リーダーそれぞれの役割・権限・責任範囲を明確にしなければ、現場で混乱を招くおそれがあるとの懸念も多く示された。特に、都道府県栄養士会会長や行政栄養士との役割重複、意思決定の所在の不明確さに対する指摘は、制度設計において十分に留意すべき重要な論点である。

## 11. 今後の方向性

### 11-1. 役割定義と位置づけの明確化

今後は、JDA-DAT 統括リーダー（仮称）の役割や権限、活動範囲を明確に定義し、JDA-DAT 内部のみならず、自治体や関係機関においても共通認識として共有される仕組みが必要である。特に、保健医療福祉調整本部との関係性については、連絡窓口としての機能や意思決定プロセスにおける位置づけを明確にすることが求められる。

### 11-2. 段階的・体系的な人材育成プログラムの構築

統括リーダーの育成にあたっては、従来の研修に加え、経験年数や役割に応じた段階的な育成プログラムを構築することが重要である。具体的には、基礎的な災害対応力を養う段階から、調整・マネジメント能力を強化する段階、統括的判断を担う段階へと発展する体系的な研修設計が求められる。

また、実地訓練やシミュレーション演習、官民連携を想定した訓練等を通じて、平時から実践的な経験を積み重ねる機会を確保することが不可欠である。

### 11-3. 制度・計画への反映と持続可能性の確保

JDA-DAT 統括リーダー（仮称）の機能を実効性あるものとするためには、自治体の地域防災計画や災害対応マニュアル等への位置づけを検討する必要がある。これにより、発災時における役割の明確化と迅速な活動開始が可能となる。

あわせて、統括的役割を担う人材が継続的に活動できるよう、所属機関や職場の理解促進、業務調整の仕組みづくりなど、制度的・環境的な支援の在り方についても検討を進めることが求められる。

### 11-4. 今後の検討課題

今後は、本調査結果を基礎資料として、JDA-DAT 統括リーダー（仮称）の具体的な要件設定、育成・登録制度の設計、評価の在り方等について、関係者間での議論を深めていく必要がある。これらの検討を通じて、災害時における栄養・食生活支援が、より安定的かつ効果的に提供される体制の構築を目指すことが重要である。

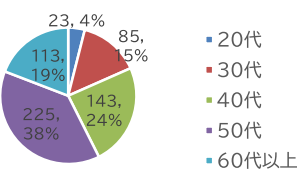
令和7年度管理栄養士専門分野別人材育成事業  
災害時栄養・食生活支援に対応できる管理栄養士の育成に関する調査(Web)結果

調査期間:2025年12月11日(木)～12月24日(水)

■基本情報

Q1 あなたの年代を教えてください

		回答数	%
合計		589	100.0
1	20代	23	3.9
2	30代	85	14.4
3	40代	143	24.3
4	50代	225	38.2
5	60代以上	113	19.2

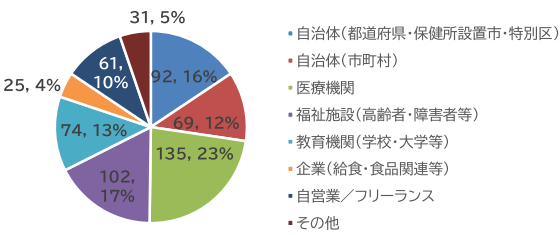


Q2 お住まいの都道府県を教えてください

		回答数	%
合計		589	100.0
1	北海道	40	6.8
2	青森県	7	1.2
3	岩手県	6	1.0
4	宮城県	8	1.4
5	秋田県	10	1.7
6	山形県	5	0.8
7	福島県	8	1.4
8	茨城県	8	1.4
9	栃木県	15	2.5
10	群馬県	6	1.0
11	埼玉県	19	3.2
12	千葉県	17	2.9
13	東京都	30	5.1
14	神奈川県	48	8.1
15	新潟県	13	2.2
16	富山県	15	2.5
17	石川県	13	2.2
18	福井県	7	1.2
19	山梨県	6	1.0
20	長野県	17	2.9
21	岐阜県	11	1.9
22	静岡県	28	4.8
23	愛知県	21	3.6
24	三重県	10	1.7
25	滋賀県	8	1.4
26	京都府	16	2.7
27	大阪府	27	4.6
28	兵庫県	21	3.6
29	奈良県	7	1.2
30	和歌山県	3	0.5
31	鳥取県	7	1.2
32	島根県	6	1.0
33	岡山県	10	1.7
34	広島県	5	0.8
35	山口県	5	0.8
36	徳島県	5	0.8
37	香川県	6	1.0
38	愛媛県	5	0.8
39	高知県	9	1.5
40	福岡県	13	2.2
41	佐賀県	4	0.7
42	長崎県	10	1.7
43	熊本県	31	5.3
44	大分県	5	0.8
45	宮崎県	2	0.3
46	鹿児島県	12	2.0
47	沖縄県	4	0.7

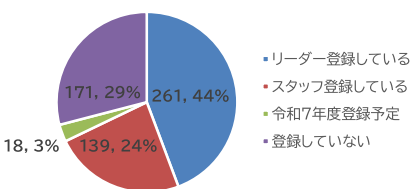
Q3 現在の主な勤務先について教えてください

		回答数	%
合計		589	100.0
1	自治体(都道府県・保健所設置市・特別区)	92	15.6
2	自治体(市町村)	69	11.7
3	医療機関	135	22.9
4	福祉施設(高齢者・障害者等)	102	17.3
5	教育機関(学校・大学等)	74	12.6
6	企業(給食・食品関連等)	25	4.2
7	自営業／フリーランス	61	10.4
8	その他	31	5.3



Q4 あなたのJDA-DATの登録状況を教えてください

		回答数	%
合計		589	100.0
1	リーダー登録している	261	44.3
2	スタッフ登録している	139	23.6
3	令和7年度登録予定	18	3.1
4	登録していない	171	29.0

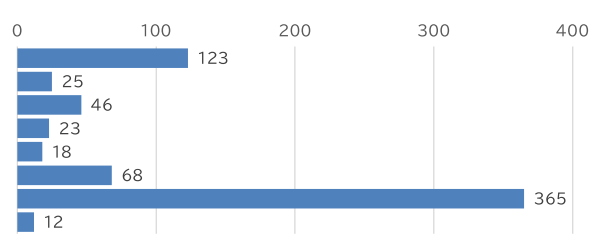


■災害にかかる栄養・食生活支援活動への関与経験

災害時の栄養・食生活支援について、JDA-DATおよび栄養士会員の立場として、自らが関わった活動について教えてください。

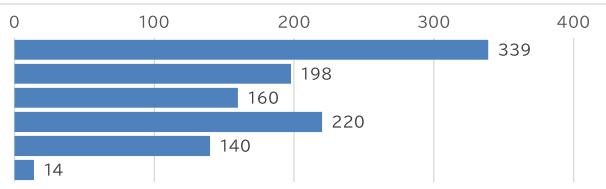
Q5-1 災害時において  
(複数回答)

	回答数	%
合計	589	100.0
1 避難所等(在宅避難も含む)で被災者への栄養・食生活支援に関わった	123	20.9
2 活動拠点(被災栄養士会の災害対策本部)で、マネジメントに関わった	25	4.2
3 被災地の特殊栄養食品ステーションで支援物資の調整等に関わった	46	7.8
4 被災地へは赴いたが、上記1～3の活動は行っていない	23	3.9
5 被災地へは赴かず、後方支援(食事評価、献立作成、物資調整等)として関わった	18	3.1
6 JDA-DATの立場ではないが、被災地において栄養・食生活支援に関わった	68	11.5
7 関与したことはない	365	62.0
8 その他	12	2.0



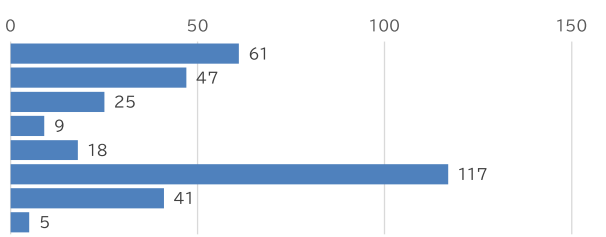
Q5-2 平時において  
(複数回答)

	回答数	%
合計	589	100.0
1 地域の防災訓練など災害対応にかかる訓練や研修に参加した	339	57.6
2 災害時の栄養・食生活支援活動に関する会議に参加した	198	33.6
3 災害時の栄養・食生活支援活動に関するマニュアル作成に関わった	160	27.2
4 災害時の栄養・食生活支援活動に関する講義、演習等を担当した	220	37.4
5 関与したことはない	140	23.8
6 その他	14	2.4



Q6 関与した災害をすべて教えてください  
(複数回答)

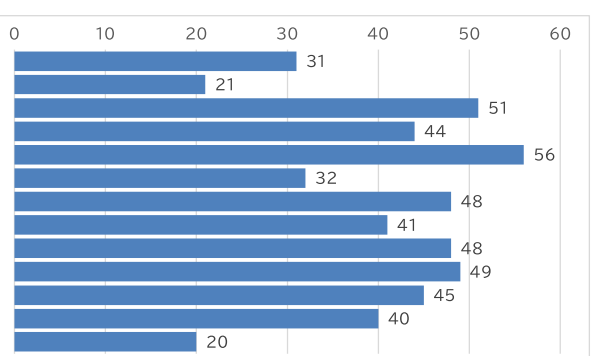
	回答数	%
合計	224	100.0
1 東日本大震災(2011年)	61	27.2
2 熊本地震(2016年)	47	21.0
3 西日本豪雨(2018年)	25	11.2
4 北海道胆振東部地震(2018年)	9	4.0
5 令和元年東日本台風(2019年)	18	8.0
6 令和6年能登半島地震(2024年)	117	52.2
7 その他	41	18.3
8 関与した災害はない	5	2.2



■被災地での栄養・食生活支援活動の実際と課題

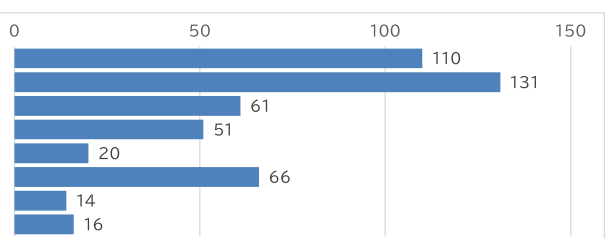
Q7-1 実際に栄養・食生活支援活動を行うにあたり、「困難」と感じた(苦労した)活動内容を教えてください  
※困難と感じた(苦労した)ことを3つまで選択してください(3個まで)

	回答数	%
合計	224	100.0
1 活動拠点(被災栄養士会の災害対策本部)における活動人員の調整	31	13.8
2 活動拠点(被災栄養士会の災害対策本部)における支援物資の調整	21	9.4
3 被災自治体担当者との活動方針の調整決定	51	22.8
4 避難所における食事提供内容の把握	44	19.6
5 提供された食事内容の評価と改善策の提案	56	25.0
6 炊き出しを含む、衛生的な食事提供方法の助言	32	14.3
7 食物アレルギーや慢性疾患等を有する要配慮者への対応	48	21.4
8 特殊栄養食品など支援物資の管理・運搬確保	41	18.3
9 他の保健医療福祉支援チームとの連携・調整	48	21.4
10 避難所運営責任者や被災者とのコミュニケーション	49	21.9
11 被災自治体に関する事前情報(避難者数、ライフライン、食事提供状況等)の入手	45	20.1
12 自分に課せられた活動内容や役割分担への理解	40	17.9
13 その他	20	8.9



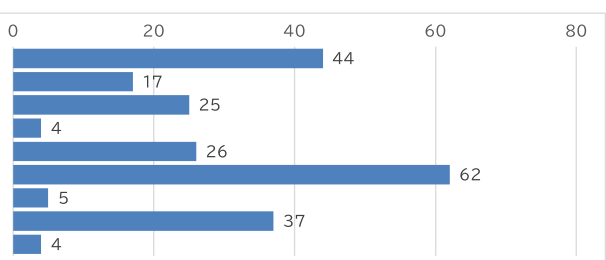
Q7-2 実際に栄養・食生活支援活動を行うにあたり、「困難」と感じた(苦労した)ことを教えてください  
※困難と感じた(苦労した)ことを3つまで選択してください(3個まで)

	回答数	%
合計	224	100.0
1 自身の知識不足	110	49.1
2 自身の経験不足	131	58.5
3 精神的・身体的負担	61	27.2
4 自身の体調管理	51	22.8
5 家族の理解	20	8.9
6 職場の理解と業務調整	66	29.5
7 特になし	14	6.3
8 その他	16	7.1



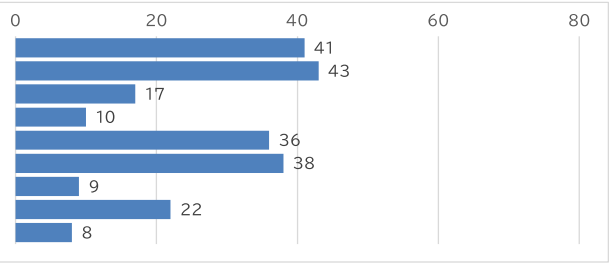
Q8-1 栄養・食生活支援活動の中で「役立った」と感じた知識やスキル(第1位)

	回答数	%
合計	224	100.0
1 災害時の栄養管理に関する知識と実践力	44	19.6
2 被災者のニーズ把握・アセスメント力	17	7.6
3 衛生管理の知識と実践力	25	11.2
4 食品表示・アレルギー対応の知識	4	1.8
5 他職種や関係機関との調整力	26	11.6
6 傾聴・コミュニケーションスキル	62	27.7
7 マネジメント・リーダーシップ力	5	2.2
8 平時からの連携体制の構築	37	16.5
9 その他	4	1.8



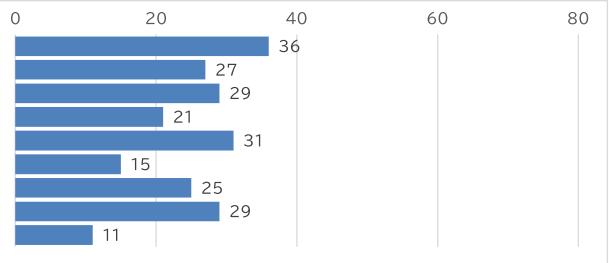
Q8-2 栄養・食生活支援活動の中で「役立った」と感じた知識やスキル(第2位)

		回答数	%
合計		224	100.0
1	災害時の栄養管理に関する知識と実践力	41	18.3
2	被災者のニーズ把握・アセスメント力	43	19.2
3	衛生管理の知識と実践力	17	7.6
4	食品表示・アレルギー対応の知識	10	4.5
5	他職種や関係機関との調整力	36	16.1
6	傾聴・コミュニケーションスキル	38	17.0
7	マネジメント・リーダーシップ力	9	4.0
8	平時からの連携体制の構築	22	9.8
9	その他	8	3.6



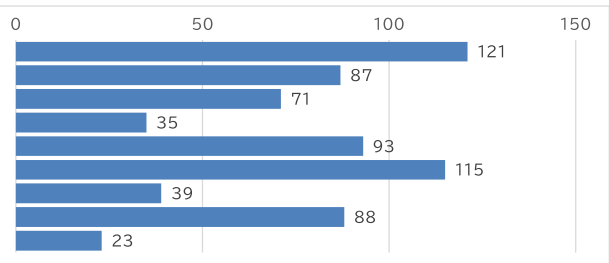
Q8-3 栄養・食生活支援活動の中で「役立った」と感じた知識やスキル(第3位)

		回答数	%
合計		224	100.0
1	災害時の栄養管理に関する知識と実践力	36	16.1
2	被災者のニーズ把握・アセスメント力	27	12.1
3	衛生管理の知識と実践力	29	12.9
4	食品表示・アレルギー対応の知識	21	9.4
5	他職種や関係機関との調整力	31	13.8
6	傾聴・コミュニケーションスキル	15	6.7
7	マネジメント・リーダーシップ力	25	11.2
8	平時からの連携体制の構築	29	12.9
9	その他	11	4.9



栄養・食生活支援活動の中で「役立った」と感じた知識やスキル(第1～3位)

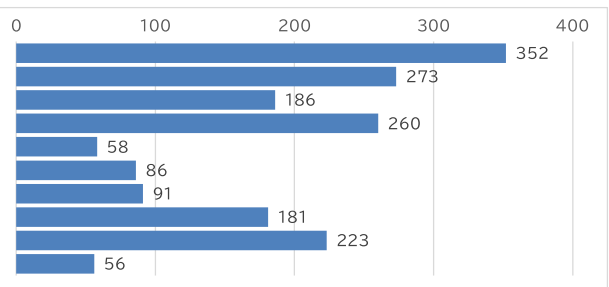
		回答数	%
合計	第1～3位までの合計	672	100.0
1	災害時の栄養管理に関する知識と実践力	121	18.0
2	被災者のニーズ把握・アセスメント力	87	12.9
3	衛生管理の知識と実践力	71	10.6
4	食品表示・アレルギー対応の知識	35	5.2
5	他職種や関係機関との調整力	93	13.8
6	傾聴・コミュニケーションスキル	115	17.1
7	マネジメント・リーダーシップ力	39	5.8
8	平時からの連携体制の構築	88	13.1
9	その他	23	3.4



■研修・育成に関する認識

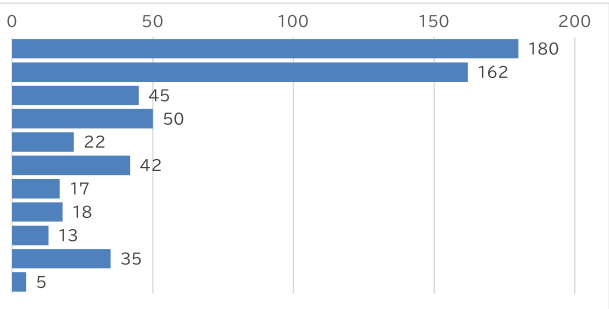
Q9 災害支援に関する研修を受けたことはありますか

		回答数	%
合計		589	100.0
1	JDA-DATスタッフ研修	352	59.8
2	JDA-DATリーダー研修	273	46.3
3	JDA-DATスキルアップ研修	186	31.6
4	都道府県栄養士会等の主催する災害支援研修	260	44.1
5	DHEAT研修	58	9.8
6	災害関連学会等が主催する研修	86	14.6
7	防災関連組織等が主催する災害支援研修	91	15.4
8	自治体が主催する災害支援研修	181	30.7
9	地域の防災訓練等	223	37.9
10	受けたことはない	56	9.5



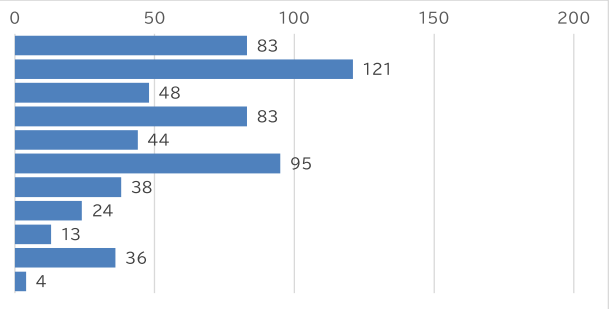
Q10-1 JDA-DATとして獲得すべき知識・スキルとして重要とを感じるもの(第1位)

		回答数	%
合計		589	100.0
1	栄養・食生活支援活動を適切に行うための体制構築	180	30.6
2	行政、保健医療福祉活動チーム等との連携・調整能力	162	27.5
3	被災者とのコミュニケーション力	45	7.6
4	避難所の食事提供アセスメントと評価・対応	50	8.5
5	物資の調達・配分、炊き出し計画	22	3.7
6	要配慮者への対応力(乳幼児、高齢者、食物アレルギー等)	42	7.1
7	避難所・福祉避難所の食環境整備(衛生、食中毒予防)	17	2.9
8	情報収集と支援活動の記録・報告・評価	18	3.1
9	心理的支援・ストレス対応	13	2.2
10	栄養・食生活に関する防災教育の知識・スキル	35	5.9
11	その他	5	0.8



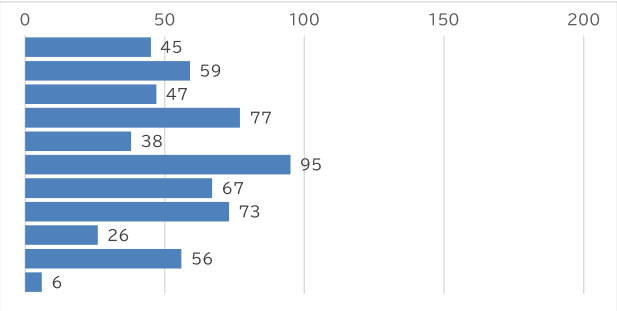
Q10-2 JDA-DATとして獲得すべき知識・スキルとして重要とを感じるもの(第2位)

		回答数	%
合計		589	100.0
1	栄養・食生活支援活動を適切に行うための体制構築	83	14.1
2	行政、保健医療福祉活動チーム等との連携・調整能力	121	20.5
3	被災者とのコミュニケーション力	48	8.1
4	避難所の食事提供アセスメントと評価・対応	83	14.1
5	物資の調達・配分、炊き出し計画	44	7.5
6	要配慮者への対応力(乳幼児、高齢者、食物アレルギー等)	95	16.1
7	避難所・福祉避難所の食環境整備(衛生、食中毒予防)	38	6.5
8	情報収集と支援活動の記録・報告・評価	24	4.1
9	心理的支援・ストレス対応	13	2.2
10	栄養・食生活に関する防災教育の知識・スキル	36	6.1
11	その他	4	0.7



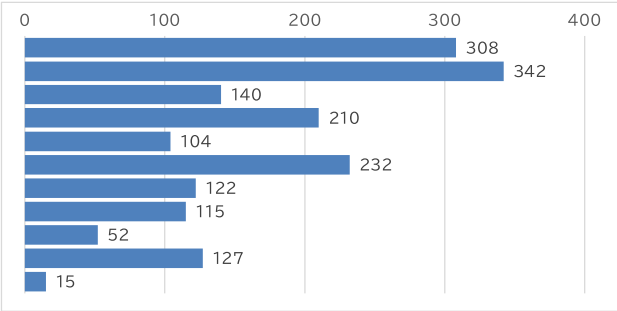
Q10-3 JDA-DATとして獲得すべき知識・スキルとして重要と感じるもの(第3位)

		回答数	%
合計		589	100.0
1	栄養・食生活支援活動を適切に行うための体制構築	45	7.6
2	行政・保健医療福祉活動チーム等との連携・調整能力	59	10.0
3	被災者とのコミュニケーション力	47	8.0
4	避難所の食事提供アセスメントと評価・対応	77	13.1
5	物資の調達・配分、炊き出し計画	38	6.5
6	要配慮者への対応力(乳幼児、高齢者、食物アレルギー等)	95	16.1
7	避難所・福祉避難所の食環境整備(衛生、食中毒予防)	67	11.4
8	情報収集と支援活動の記録・報告・評価	73	12.4
9	心理的支援・ストレス対応	26	4.4
10	栄養・食生活に関する防災教育の知識・スキル	56	9.5
11	その他	6	1.0



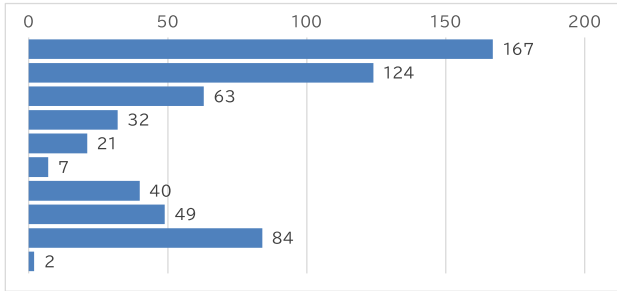
JDA-DATとして獲得すべき知識・スキルとして重要と感じるもの(第1～3位)

第1～3位		回答数	%
合計		1767	100.0
1	栄養・食生活支援活動を適切に行うための体制構築	308	17.4
2	行政・保健医療福祉活動チーム等との連携・調整能力	342	19.4
3	被災者とのコミュニケーション力	140	7.9
4	避難所の食事提供アセスメントと評価・対応	210	11.9
5	物資の調達・配分、炊き出し計画	104	5.9
6	要配慮者への対応力(乳幼児、高齢者、食物アレルギー等)	232	13.1
7	避難所・福祉避難所の食環境整備(衛生、食中毒予防)	122	6.9
8	情報収集と支援活動の記録・報告・評価	115	6.5
9	心理的支援・ストレス対応	52	2.9
10	栄養・食生活に関する防災教育の知識・スキル	127	7.2
11	その他	15	0.8



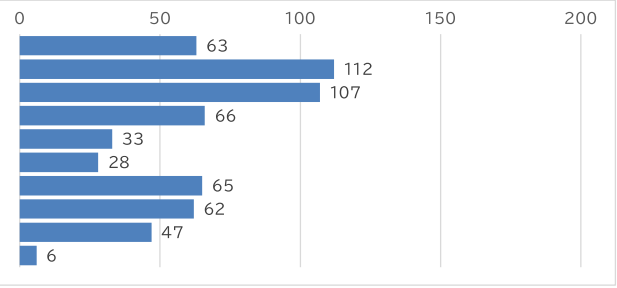
Q11-1 JDA-DAT育成体制に関して、必要だと思う取り組み(第1位)

		回答数	%
合計		589	100.0
1	段階的な研修プログラムの整備	167	28.4
2	実地訓練の機会	124	21.1
3	シミュレーションの機会	63	10.7
4	近隣栄養士会との合同訓練や研修の実施	32	5.4
5	支援活動マニュアルの充実	21	3.6
6	アクションカードの拡充	7	1.2
7	支援活動経験者からの学びの場(事例共有、講話など)	40	6.8
8	地域との連携強化(防災訓練への参加など)	49	8.3
9	JDA-DATの活動に関して、指導的な役割を担う人材(統括人材)の養成	84	14.3
10	その他	2	0.3



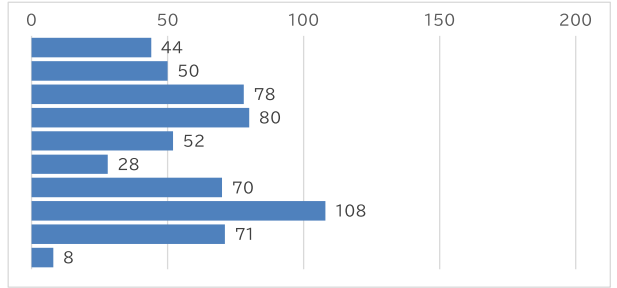
Q11-2 JDA-DAT育成体制に関して、必要だと思う取り組み(第2位)

		回答数	%
合計		589	100.0
1	段階的な研修プログラムの整備	63	10.7
2	実地訓練の機会	112	19.0
3	シミュレーションの機会	107	18.2
4	近隣栄養士会との合同訓練や研修の実施	66	11.2
5	支援活動マニュアルの充実	33	5.6
6	アクションカードの拡充	28	4.8
7	支援活動経験者からの学びの場(事例共有、講話など)	65	11.0
8	地域との連携強化(防災訓練への参加など)	62	10.5
9	JDA-DATの活動に関して、指導的な役割を担う人材(統括人材)の養成	47	8.0
10	その他	6	1.0



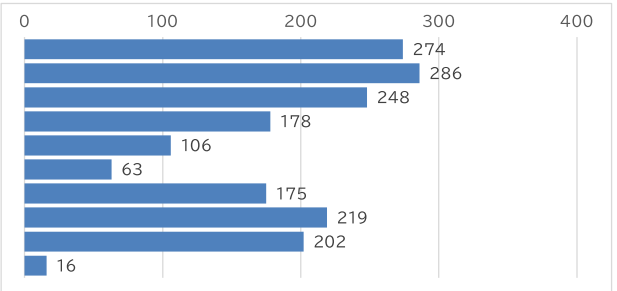
Q11-3 JDA-DAT育成体制に関して、必要だと思う取り組み(第3位)

		回答数	%
合計		589	100.0
1	段階的な研修プログラムの整備	44	7.5
2	実地訓練の機会	50	8.5
3	シミュレーションの機会	78	13.2
4	近隣栄養士会との合同訓練や研修の実施	80	13.6
5	支援活動マニュアルの充実	52	8.8
6	アクションカードの拡充	28	4.8
7	支援活動経験者からの学びの場(事例共有、講話など)	70	11.9
8	地域との連携強化(防災訓練への参加など)	108	18.3
9	JDA-DATの活動に関して、指導的な役割を担う人材(統括人材)の養成	71	12.1
10	その他	8	1.4



JDA-DAT育成体制に関して、必要だと思う取り組み(第1～3位)

		回答数	%
合計		1767	100.0
1	段階的な研修プログラムの整備	274	15.5
2	実地訓練の機会	286	16.2
3	シミュレーションの機会	248	14.0
4	近隣栄養士会との合同訓練や研修の実施	178	10.1
5	支援活動マニュアルの充実	106	6.0
6	アクションカードの拡充	63	3.6
7	支援活動経験者からの学びの場(事例共有、講話など)	175	9.9
8	地域との連携強化(防災訓練への参加など)	219	12.4
9	JDA-DATの活動に関して、指導的な役割を担う人材(統括人材)の養成	202	11.4
10	その他	16	0.9



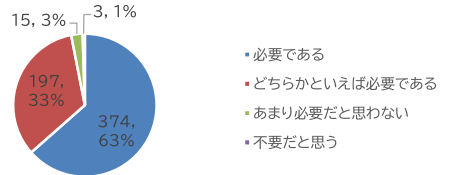


■「JDA-DAT統括リーダー(仮称)」に関する設問

※JDA-DAT統括リーダー(仮称)とは：  
 発災時、JDA-DATが担う栄養・食生活支援活動の全体像を把握し、時間経過に伴う適切な支援活動を指揮命令できる人。被災自治体に設置される保健医療福祉調整本部における連絡窓口担当を担い、被災地栄養士会災害対策本部とのリエゾン的役割を果たせる人。

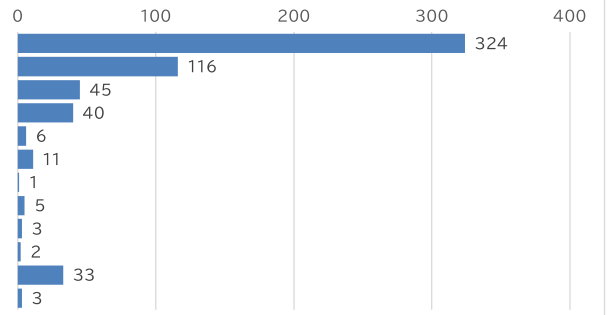
Q13 被災地支援において、JDA-DAT統括リーダー(仮称)は必要だと思いますか？

		回答数	%
合計		589	100.0
1	必要である	374	63.5
2	どちらかといえば必要である	197	33.4
3	あまり必要だと思わない	15	2.5
4	不要だと思う	3	0.5



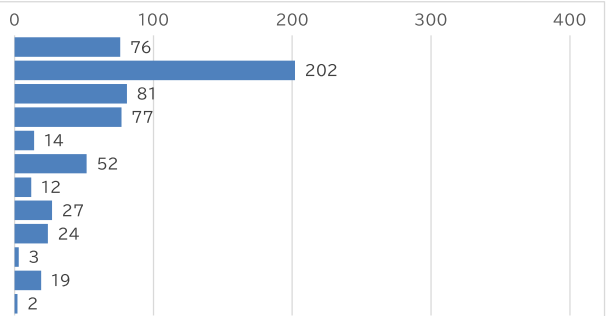
Q14-1 JDA-DAT統括リーダー(仮)に必要なと思う役割(第1位)

		回答数	%
合計		589	100.0
1	JDA-DAT支援チーム全体の調整・統括	324	55.0
2	被災地自治体、保健医療福祉調整本部との連絡調整	116	19.7
3	被災者自治体管理栄養士との連絡調整	45	7.6
4	支援活動の優先順位の判断と指示	40	6.8
5	避難所、福祉避難所等との連絡調整	6	1.0
6	保健医療福祉活動チームとの連携・情報共有の推進	11	1.9
7	災害支援中間組織などNPO団体等との連携・情報共有の推進	1	0.2
8	被災者の栄養ニーズの把握と対応方針の決定	5	0.8
9	JDA-DAT支援者の健康・安全管理への配慮	3	0.5
10	支援活動記録や報告のとりまとめ	2	0.3
11	日頃から関係者間での顔の見える関係づくり(平時からの連携体制の構築)	33	5.6
12	その他	3	0.5



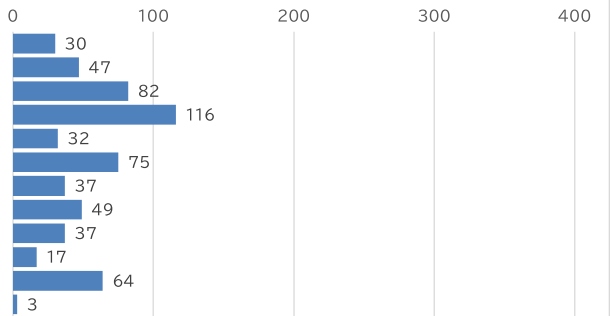
Q14-2 JDA-DAT統括リーダー(仮)に必要なと思う役割(第2位)

		回答数	%
合計		589	100.0
1	JDA-DAT支援チーム全体の調整・統括	76	12.9
2	被災地自治体、保健医療福祉調整本部との連絡調整	202	34.3
3	被災者自治体管理栄養士との連絡調整	81	13.8
4	支援活動の優先順位の判断と指示	77	13.1
5	避難所、福祉避難所等との連絡調整	14	2.4
6	保健医療福祉活動チームとの連携・情報共有の推進	52	8.8
7	災害支援中間組織などNPO団体等との連携・情報共有の推進	12	2.0
8	被災者の栄養ニーズの把握と対応方針の決定	27	4.6
9	JDA-DAT支援者の健康・安全管理への配慮	24	4.1
10	支援活動記録や報告のとりまとめ	3	0.5
11	日頃から関係者間での顔の見える関係づくり(平時からの連携体制の構築)	19	3.2
12	その他	2	0.3



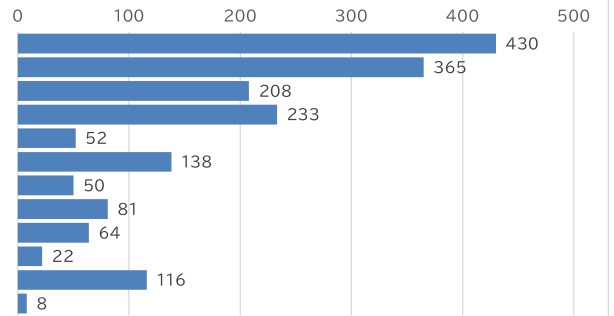
Q14-3 JDA-DAT統括リーダー(仮)に必要なと思う役割(第3位)

		回答数	%
合計		589	100.0
1	JDA-DAT支援チーム全体の調整・統括	30	5.1
2	被災地自治体、保健医療福祉調整本部との連絡調整	47	8.0
3	被災者自治体管理栄養士との連絡調整	82	13.9
4	支援活動の優先順位の判断と指示	116	19.7
5	避難所、福祉避難所等との連絡調整	32	5.4
6	保健医療福祉活動チームとの連携・情報共有の推進	75	12.7
7	災害支援中間組織などNPO団体等との連携・情報共有の推進	37	6.3
8	被災者の栄養ニーズの把握と対応方針の決定	49	8.3
9	JDA-DAT支援者の健康・安全管理への配慮	37	6.3
10	支援活動記録や報告のとりまとめ	17	2.9
11	日頃から関係者間での顔の見える関係づくり(平時からの連携体制の構築)	64	10.9
12	その他	3	0.5



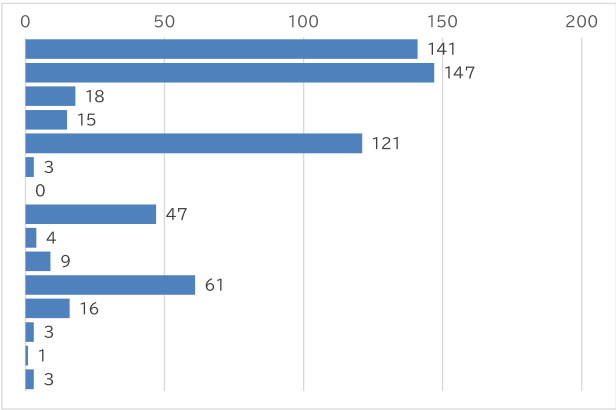
JDA-DAT統括リーダー(仮)に必要なと思う役割(第1～3位)

第1～3位		回答数	%
合計		1767	100.0
1	JDA-DAT支援チーム全体の調整・統括	430	24.3
2	被災地自治体、保健医療福祉調整本部との連絡調整	365	20.7
3	被災者自治体管理栄養士との連絡調整	208	11.8
4	支援活動の優先順位の判断と指示	233	13.2
5	避難所、福祉避難所等との連絡調整	52	2.9
6	保健医療福祉活動チームとの連携・情報共有の推進	138	7.8
7	災害支援中間組織などNPO団体等との連携・情報共有の推進	50	2.8
8	被災者の栄養ニーズの把握と対応方針の決定	81	4.6
9	JDA-DAT支援者の健康・安全管理への配慮	64	3.6
10	支援活動記録や報告のとりまとめ	22	1.2
11	日頃から関係者間での顔の見える関係づくり(平時からの連携体制の構築)	116	6.6
12	その他	8	0.5



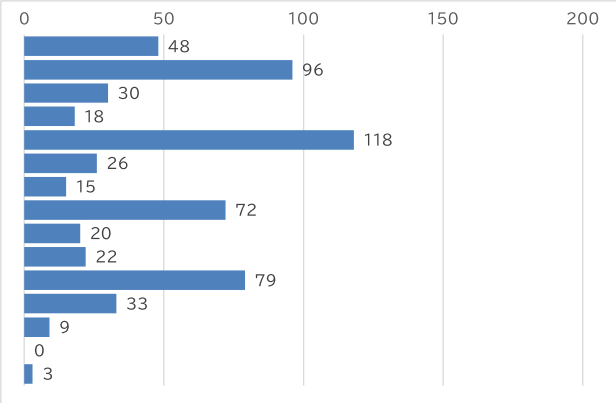
Q15-1 JDA-DAT統括リーダー(仮)に求められるスキルとマインド(第1位)

		回答数	%
合計		589	100.0
1	統率力	141	23.9
2	災害支援に関する経験と判断力	147	25.0
3	栄養・食支援に関する専門知識	18	3.1
4	被災者とのコミュニケーション力	15	2.5
5	行政、他職種と連携するコミュニケーション力	121	20.5
6	他の支援チームの理解	3	0.5
7	復旧・復興に向けた長期的な視点	0	0.0
8	マネジメント・調整力	47	8.0
9	情報収集・分析力	4	0.7
10	危機管理能力(リスク評価)	9	1.5
11	状況を俯瞰し、先を見通す力(全体把握力)	61	10.4
12	精神的な安定・柔軟な対応力(信頼性)	16	2.7
13	共感力(多様な価値観への理解と尊厳を守る)	3	0.5
14	文書作成・記録能力	1	0.2
15	その他	3	0.5



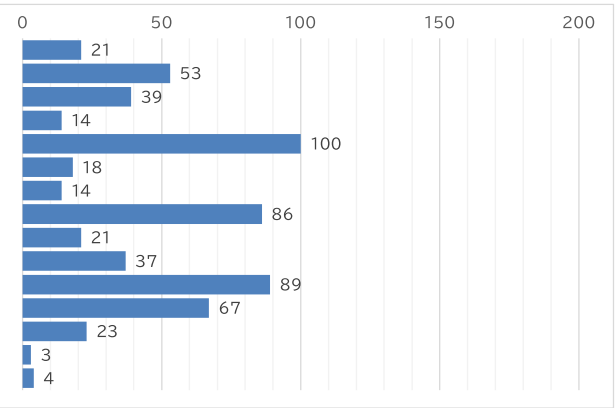
Q15-2 JDA-DAT統括リーダー(仮)に求められるスキルとマインド(第2位)

		回答数	%
合計		589	100.0
1	統率力	48	8.1
2	災害支援に関する経験と判断力	96	16.3
3	栄養・食支援に関する専門知識	30	5.1
4	被災者とのコミュニケーション力	18	3.1
5	行政、他職種と連携するコミュニケーション力	118	20.0
6	他の支援チームの理解	26	4.4
7	復旧・復興に向けた長期的な視点	15	2.5
8	マネジメント・調整力	72	12.2
9	情報収集・分析力	20	3.4
10	危機管理能力(リスク評価)	22	3.7
11	状況を俯瞰し、先を見通す力(全体把握力)	79	13.4
12	精神的な安定・柔軟な対応力(信頼性)	33	5.6
13	共感力(多様な価値観への理解と尊厳を守る)	9	1.5
14	文書作成・記録能力	0	0.0
15	その他	3	0.5



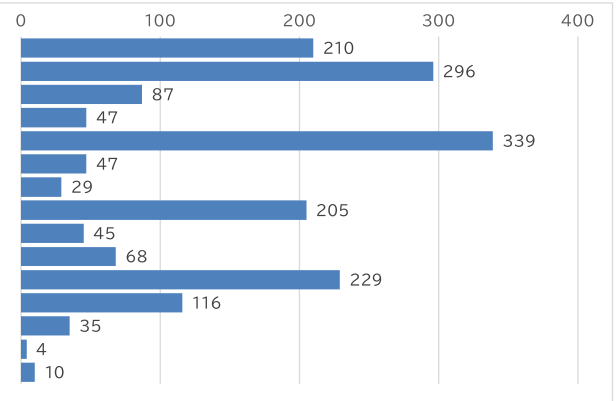
Q15-3 JDA-DAT統括リーダー(仮)に求められるスキルとマインド(第3位)

		回答数	%
合計		589	100.0
1	統率力	21	3.6
2	災害支援に関する経験と判断力	53	9.0
3	栄養・食支援に関する専門知識	39	6.6
4	被災者とのコミュニケーション力	14	2.4
5	行政、他職種と連携するコミュニケーション力	100	17.0
6	他の支援チームの理解	18	3.1
7	復旧・復興に向けた長期的な視点	14	2.4
8	マネジメント・調整力	86	14.6
9	情報収集・分析力	21	3.6
10	危機管理能力(リスク評価)	37	6.3
11	状況を俯瞰し、先を見通す力(全体把握力)	89	15.1
12	精神的な安定・柔軟な対応力(信頼性)	67	11.4
13	共感力(多様な価値観への理解と尊厳を守る)	23	3.9
14	文書作成・記録能力	3	0.5
15	その他	4	0.7



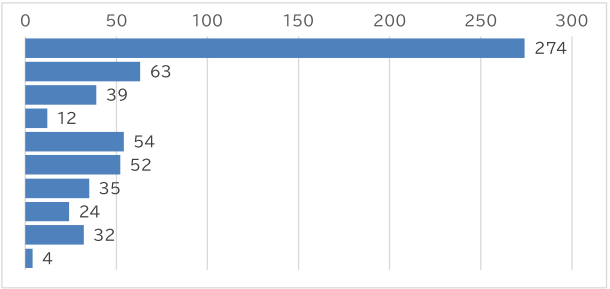
JDA-DAT統括リーダー(仮)に求められるスキルとマインド(第1～3位)

		回答数	%
合計	第1～3位	1767	100.0
1	統率力	210	11.9
2	災害支援に関する経験と判断力	296	16.8
3	栄養・食支援に関する専門知識	87	4.9
4	被災者とのコミュニケーション力	47	2.7
5	行政、他職種と連携するコミュニケーション力	339	19.2
6	他の支援チームの理解	47	2.7
7	復旧・復興に向けた長期的な視点	29	1.6
8	マネジメント・調整力	205	11.6
9	情報収集・分析力	45	2.5
10	危機管理能力(リスク評価)	68	3.8
11	状況を俯瞰し、先を見通す力(全体把握力)	229	13.0
12	精神的な安定・柔軟な対応力(信頼性)	116	6.6
13	共感力(多様な価値観への理解と尊厳を守る)	35	2.0
14	文書作成・記録能力	4	0.2
15	その他	10	0.6



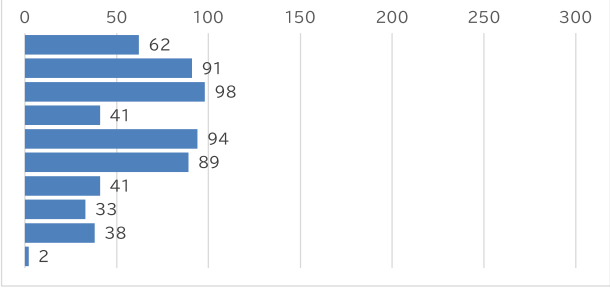
Q16-1 JDA-DAT統括リーダー(仮)の役割を担う人材育成に向けた必要な取組(第1位)

		回答数	%
合計		589	100.0
1	経験者による段階的なリーダー育成研修	274	46.5
2	実地訓練	63	10.7
3	シミュレーション演習	39	6.6
4	活動事例の収集と共有	12	2.0
5	官民連携を想定した訓練	54	9.2
6	明確な役割定義や活動マニュアルの整備	52	8.8
7	指導者候補者の登録・育成制度の整備	35	5.9
8	自治体栄養士の業務の理解	24	4.1
9	自治体の地域防災計画への位置づけ・記載	32	5.4
10	その他	4	0.7



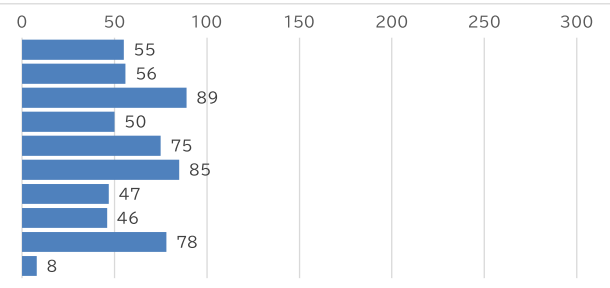
Q16-2 JDA-DAT統括リーダー(仮)の役割を担う人材育成に向けた必要な取組(第2位)

		回答数	%
合計		589	100.0
1	経験者による段階的なリーダー育成研修	62	10.5
2	実地訓練	91	15.4
3	シミュレーション演習	98	16.6
4	活動事例の収集と共有	41	7.0
5	官民連携を想定した訓練	94	16.0
6	明確な役割定義や活動マニュアルの整備	89	15.1
7	指導者候補者の登録・育成制度の整備	41	7.0
8	自治体栄養士の業務の理解	33	5.6
9	自治体の地域防災計画への位置づけ・記載	38	6.5
10	その他	2	0.3



Q16-3 JDA-DAT統括リーダー(仮)の役割を担う人材育成に向けた必要な取組(第3位)

		回答数	%
合計		589	100.0
1	経験者による段階的なリーダー育成研修	55	9.3
2	実地訓練	56	9.5
3	シミュレーション演習	89	15.1
4	活動事例の収集と共有	50	8.5
5	官民連携を想定した訓練	75	12.7
6	明確な役割定義や活動マニュアルの整備	85	14.4
7	指導者候補者の登録・育成制度の整備	47	8.0
8	自治体栄養士の業務の理解	46	7.8
9	自治体の地域防災計画への位置づけ・記載	78	13.2
10	その他	8	1.4



JDA-DAT統括リーダー(仮)の役割を担う人材育成に向けた必要な取組(第1～3位)

		回答数	%
合計		1767	100.0
1	経験者による段階的なリーダー育成研修	391	22.1
2	実地訓練	210	11.9
3	シミュレーション演習	226	12.8
4	活動事例の収集と共有	103	5.8
5	官民連携を想定した訓練	223	12.6
6	明確な役割定義や活動マニュアルの整備	226	12.8
7	指導者候補者の登録・育成制度の整備	123	7.0
8	自治体栄養士の業務の理解	103	5.8
9	自治体の地域防災計画への位置づけ・記載	148	8.4
10	その他	14	0.8

